

事業概要	有機物処理機の製造・販売、微生物の販売 対象:野菜・肉等の残渣物、動物の糞、その他有機物
部署	—
所在地	〒104-0045 東京都中央区築地2丁目7番12号15 山京ビル801号室
連絡先	(電話番号)03-6260-6848 (E-mail) j-tsuneishi@nihonhakko.co.jp
環境省ローカルSDGsを通じて、実現したい社会像	農業が衰退(農家が減少)する中、今まで活用されていた堆肥が流通しづらい状況となっている。そのため、堆肥のもととなる家畜等動物の糞が行き場をなくし、特に都市部近郊においては社会問題となっている。また、家庭ゴミの中には食品残渣(多くの水分を含んだもの)等有機物が多く混ざり、ごみ焼却場で処理をする際多くの燃焼エネルギーを必要とし多くのCO ₂ が排出されている。 これらの不要な有機物を、焼却処理に代わり「燃やさず」処理することによりCO ₂ 排出削減に貢献、地域の環境負荷軽減を実現することにより住みやすい街にすることが弊社の実現したい社会像である。

ローカルSDGsの実現に貢献できるソリューション	分野	<p>その他(廃棄物処理)</p> <p>弊社のソリューションは、攪拌機と微生物による効率的な有機物分解である。有機物の減容率は処理するものや処理環境により異なってくるが、他社の処理機にはない給排水不要という特徴を持っている。このことにより、排水による水質汚染の心配はない。</p> <p>ソリューション導入のイメージは、「有機物の廃棄処理に高額な費用がかかっている」「処理時に大量のCO₂が発生しており排出削減の必要がある」などの問題解決の手段としてである。</p> <p>具体的には、</p> <ol style="list-style-type: none">1、鳥獣害処理で発生する内臓等の処理(高額処理費削減)2、都市型動物園等で発生する餌の残渣及び糞の処理(CO₂削減) <p>などで貢献可能である。</p> <p>現在、稼働中の処理機は、豊洲市場内の青果廃棄物処理(日量300kg)で活用されている。また、千葉市動物公園で行っている動物の糞の減容実験では96%以上の減容率を記録している。(2021年10月末まで実験中)</p>
上記ソリューションを提供できる地域について	URL	https://www.nihonhakko.co.jp/
自者の特徴	<p>築地市場での大型化実験 千葉市動物公園での餌残渣、糞尿処理実験</p> <p>他社との差別化</p> <ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> 給排水不要<input type="checkbox"/> 減容率の高さ(使用微生物に違いあり)<input type="checkbox"/> 故障検知(オプション)<input type="checkbox"/> 遠隔監視(オプション)	

SDGs経営に向けた自
者の課題や悩み

国や地方自治体が、地球環境の悪化改善を目指すため盛んに警鐘を鳴らしていますが、企業や個人の意識は低くまだまだ他人事のように感じている人が多く見られます。

どのようにしたら「自身に迫っている危機」と感じ行動に移すことができるのか、自社の事業を推進するうえでも非常に難しく大きなテーマとなっています。